

健康と信頼をお届けする



日清製粉グループ

結ぶ心、 つなげる未来

日清製粉グループ
社会・環境レポート2013





日清製粉グループの経営理念



企業理念

日清製粉グループは「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を社是とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」ことを企業理念として、生活産業をグローバルに展開してゆきます。

日清製粉グループの企業行動規範・社員行動指針

1. 健全な事業活動と持続的な発展
2. 安心・安全で高品質な製品・サービスの開発と提供
3. 人間性の尊重
4. 社会規範の遵守と公正な企業活動の推進
5. 適切な広報活動の推進
6. 環境保全の推進
7. 社会貢献活動の推進
8. 現地に根ざした海外事業の推進
9. 本規範及び指針の実現に向けての経営者の役割と責任

【日清製粉グループの企業行動規範】 <http://www.nisshin.com/csr/vision/model.html>

【日清製粉グループの社員行動指針】 <http://www.nisshin.com/csr/vision/principle.html>



お読みいただくにあたって

日清製粉グループでは、ウェブサイト「CSRの窓」と「社会・環境レポート」(本冊子)の2つの媒体を通じて、ステークホルダーの皆様へ当社グループの社会的責任に対する姿勢や取り組みをお伝えしています。

「CSRの窓」はCSRに関する取り組みの全体を紹介し、本冊子では当社グループが重要と考える課題に対する具体的な取り組みを中心に、わかりやすさに配慮して紹介しています。

参考にしたガイドライン

GRI「サステナビリティ レポートガイドライン」第4版
環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版)
ISO26000「社会的責任に関する手引」

報告範囲

【対象期間】

2012年度(2012年4月1日～2013年3月31日)の事象について報告しています。

【対象組織】

原則として(株)日清製粉グループ本社および連結子会社・持分法適用関連会社55社(2013年3月末現在)を対象としています。グループ全体の情報を十分に把握できていない事象については、報告の都度、対象組織を明示しています。なお環境報告の対象範囲は、(株)日清製粉グループ本社および連結子会社合計39社となっています。

報告対象期間に発生した事業変更など

- ・日清製粉(株)福岡工場の建設に着手(2012年5月)
※2014年2月完工予定
- ・業務用プレミックス新会社、日清製粉プレミックス(株)を設立(2012年10月)
- ・オリエンタル酵母工業(株)長浜研究所構内に補酵素生産棟を新設(2012年12月)
- ・日清製粉(株)知多工場に新ライン増設を決定(2012年12月)
※2015年夏完工予定
- ・総合中食メーカーのトオカツフーズ(株)に出資(2012年12月)
- ・日清STC製粉(株)の小麦粉生産能力約20%増強(2013年1月)
- ・ニュージーランド最大の製粉事業を取得、新会社Champion Flour Milling Ltd.としてスタート(2013年2月)
- ・Miller Milling Company, LLCの小麦粉生産能力約30%増強(2013年2月)

ステークホルダーの呼称について

本レポートでは、「お客様」とは、「消費者の皆様」および「お得意様」を指しています。

発行日について

2013年9月(前回2012年9月 次回2014年8月予定)

お問い合わせ先

(株)日清製粉グループ本社 技術本部 環境管理室
TEL 03-5282-6570 FAX 03-5282-6155

社員一人ひとりが社会的責任を果たし、 ステークホルダーの皆様から 積極的に支持され続ける企業を目指します。

中期経営計画の取り組み状況

当社グループは、創業120周年となる2020年を見据えた長期的な視点に立ち、トップライン(売上高)の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」を昨年4月にスタートしました。初年度の昨年は福岡新製粉工場の建設着工、ニュージーランド最大のチャンピオン製粉の取得、総合中食メーカーであるトオカツフーズ(株)への出資、新会社日清製粉プレミックスの設立等の具体的な成果を出すことが出来ました。本年度も、中期経営計画で策定した戦略施策をスピード感を持って着実に進め、近い将来の数値目標である売上高1兆円、海外売上高比率30%以上の達成を目指してまいります。



株式会社日清製粉グループ本社
代表取締役
取締役社長

大枝 宏之

社会的責任への取り組み

当社グループは、中期経営計画達成に向けた戦略を着実に実行する一方、社会にとって真に必要な企業グループであり続けるべく、コンプライアンスの徹底、品質保証体制の確立、環境保全活動の推進等のCSR(企業の社会的責任)活動を経営の最重要課題の一つと位置付け、グループ全社に徹底を図っております。

国民の主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保し、安全な製品をお届けすることは当社グループの重要な社会的使命であります。震災の経験を活かし、BCP(事業継続計画)をさらに実効性のあるものに改善し、災害への備えを拡充してまいります。さらに、当社グループは社会の一員として、東日本大震災被災地の復興支援等の社会貢献活動に今後も継続して取り組んでまいります。

また、公益財団法人食生活研究会を通じて、食糧及び食生活に関する研究者や研究機関への助成等も引き続き実施することで、健康で豊かな食生活の向上に寄与してまいります。

地球環境の保全に関しましては、「日清製粉グループ環境基本方針」に基づき、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルを通じた環境負荷の低減に取り組んでおり、電力問題への対応も含め、本年度も引き続き積極的に実行してまいります。

製粉ミュージアムを通じた社会貢献

昨年11月に当社グループ創業の地である群馬県館林市に「製粉ミュージアム」をオープンしました。当館では、当社グループの創業からの歴史や、小麦から小麦粉が出来る「ものづくり」の工程をはじめとした小麦・小麦粉に関するさまざまな情報をご紹介します。

身近な食糧である小麦粉の知識を深めていただくことで、将来を担う子供たちのための教育資産として、また館林市を中心とした周辺地域の観光資源として、社会に貢献してまいります。

社員が誇りと自信を持った会社を目指して

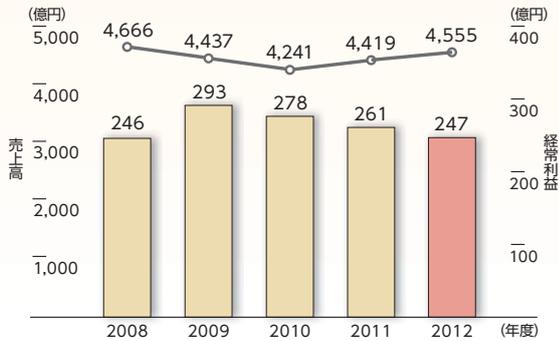
当社グループは、社員一人ひとりが、法令順守、食品安全、環境保全等の社会的責任を果たし、ステークホルダーの皆様から積極的に支持され続ける企業であることを目指して努力を重ねてまいります。さらに、中期経営計画で全社員に求めている姿勢「Fight, Speed&Change!」をキーワードに、全社員が会社の置かれている環境認識、進むべき方向性について常にベクトルをあわせ、アクセルとブレーキが効いた「戦う組織、戦う集団」として、一人ひとりが当社グループの一員であることに誇りを持ち、自信を持って仕事に取り組んでいく企業を目指してまいります。

事業概要

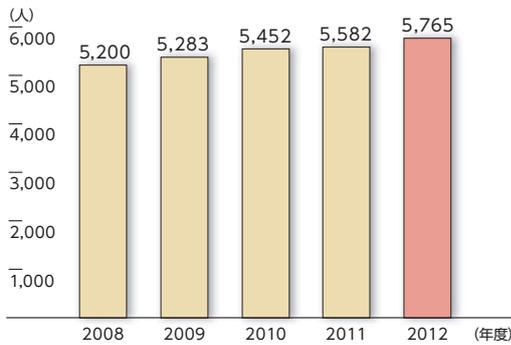
日清製粉グループは、2001年7月に分社し、現在は持ち株会社である(株)日清製粉グループ本社を中心に、113年の歴史を持つ「製粉事業」と、製粉事業を通じて培った技術を起点に「加工食品」「中食・惣菜」「酵母・バイオ」「健康食品」「ペットフード」「エンジニアリング」「メッシュクロス」の分野で事業戦略を展開しています。

社名/株式会社日清製粉グループ本社
 所在地/東京都千代田区神田錦町一丁目25番地
 創業/1900年(明治33年)10月
 資本金/17,117百万円
 発行済株式の総数/251,535,448株 2013年3月31日現在

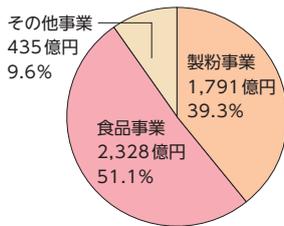
売上高(連結)・経常利益(連結)



グループ従業員数(連結)



セグメント別売上高(連結)



従業員の状況(連結)*

	従業員数(人)
製粉事業	1,416 [55]
食品事業	3,208 [1,516]
その他事業	767 [253]
全社(共通)	374 [59]
合計	5,765 [1,883]

*従業員数は就業人員であり、臨時従業員は[]内に年間の平均人員を外数で記載しています。

製粉事業

パン・麺・菓子メーカー様等の商品づくりのコンセプトに合わせ、小麦の挽き方や配合を工夫し、数百種類の小麦粉を開発・提案しています。また、新しい食文化の創造や新業態開発にも挑戦し続けています。

食品事業

加工食品事業

ミックス類やパスタ・パスタソース、乾麺などの小麦粉二次加工品を中心に、家庭用・業務用それぞれの市場において、「常温」「冷凍」の2つの温度帯の製品を販売しています。



中食・惣菜事業

和のおかずやサラダといった惣菜を製造し、パック詰めにした商品を販売。主に量販店の惣菜売り場にて季節の味をお届けしています。



酵母・バイオ事業

製パン・製菓業界向けにイースト、フィリング、マヨネーズといった多様な素材を提供しています。また、80年間にわたり培った培養技術を生かし、診断薬原料や医薬品の研究開発支援資材・サービスなどを提供しています。



各種イースト

健康食品事業

お客様のニーズを捉えた安全・安心な栄養補助食品、トクホなどの健康食品の他、固有技術を生かした高品質な医薬品原薬、医薬品製剤事業を展開しています。



その他事業

ペットフード事業

大切な家族の一員であるペットには、すこやかに暮らし、長生きしてもらいたい、というペットオーナーの願いに応えるため、安心かつ高品質なペットフードの研究・開発から製造、販売、そしてアフターフォローまでのペットライフを総合的にサポートしています。



エンジニアリング事業

食品・医薬品・化成品などの製造設備から工場建設にいたるまでの広範囲な「エンジニアリング事業」のほか、世界レベルの高度な粉体加工技術を用い、「機器製作販売事業」「粉粒体加工事業」を展開しています。



大型穀物サイロ

メッシュクロス事業

メッシュテクノロジーをコアに、スクリーン印刷用メッシュクロスの製造をはじめ、抗ウイルス・抗菌性を持つ「キュフィテック」製品の開発など、独自の高付加価値化技術をあらゆる産業分野へ展開しています。



スルザー織機群

新製品のご紹介

マ・マー 早ゆでスパゲティ チャック付結束タイプ

マ・マーの早ゆでスパゲティに、使いやすいチャック付き・結束タイプが登場。「早ゆで」と「ゆで時間」の表記を大きくし、商品特長をより分かりやすくしました。マ・マー独自の風ぐるま形状で、「早ゆで」+「アルデンテ食感」を実現しています。



1.4mm 500g



1.6mm 500g

製粉事業

- 日清製粉株式会社
 - フレッシュ・フード・サービス株式会社
 - ヤマジョウ商事株式会社
 - ロジャーズ・フーズ株式会社 (カナダ)
 - 日清STC製粉株式会社 (タイ)
 - NSTCトレーディング株式会社 (タイ)
 - Miller Milling Company, LLC (アメリカ)
 - NSGI Holdings Inc. (アメリカ)
 - Champion Flour Milling Ltd. (ニュージーランド)
 - 石川株式会社
 - フォーリーブス株式会社 (シンガポール)

食品事業

加工食品事業

- 日清フーズ株式会社
 - 日清製粉プレミックス株式会社
 - マ・マーマカロニ株式会社
 - イニシオフーズ株式会社
 - 大山ハム株式会社
 - メダリオン・フーズ・インク (アメリカ)
 - フード・マスターズ株式会社 (アメリカ)
 - タイ日清製粉株式会社 (タイ)
 - タイ日清テクノミック株式会社 (タイ)
 - 新日清製粉食品 (青島) 有限公司 (中国)
 - 日清製粉東酵 (上海) 商貿有限公司 (中国)
 - トオカツフーズ株式会社
 - 欧諾嘉 (上海) 商貿有限公司 (中国)
- 他連結子会社 1社

酵母・バイオ事業

- オリエンタル酵母工業株式会社
 - 株式会社パニーデリカ
 - 株式会社OYCフーズネット
 - 株式会社日本バイオリサーチセンター
 - 北山ラベス株式会社
 - 株式会社オリエンタルバイオサービス
 - 株式会社ケービーティーオリエンタル
 - OYC Americas, Inc. (アメリカ)
 - OYC EU B.V. (オランダ)
 - Oriental Yeast India Pvt. Ltd. (インド)
- 他持分法適用会社 1社

健康食品事業

- 日清ファルマ株式会社

その他事業

ペットフード事業

- 日清ペットフード株式会社

エンジニアリング事業

- 日清エンジニアリング株式会社

メッシュクロス事業

- 株式会社NBCメッシュテック
 - 株式会社NBCハイネット
 - 株式会社NBCメタルメッシュ
 - PT.NBCインドネシア (インドネシア)
 - ダイナメッシュ・インク (アメリカ)
 - 恩美絲 (上海) 紗網貿易有限公司 (中国)
- 他連結子会社 1社、持分法適用会社 1社

配合飼料事業

- 日清丸紅飼料株式会社

その他

- 日清サイロ株式会社
- 阪神サイロ株式会社
- 信和開発株式会社
- 日本ロジテム株式会社
- 千葉共同サイロ株式会社

持株会社

- 株式会社日清製粉グループ本社
 - 日清アソシエイツ株式会社
 - 錦築 (煙台) 食品研究開発有限公司 (中国)

●…連結子会社、○…持分法適用会社 (2013年3月末現在)





～製粉ミュージアム～ 館林市の新たな文化拠点・観光資源

製粉ミュージアム本館と池

2012年11月に当社創業の地である館林市(群馬県)に、小麦・小麦粉をテーマにした世界的にも貴重な企業文化施設「製粉ミュージアム」をオープンしました。

明治創業期に建てられた「本館」は、最新の免震設備と建屋の内外装に耐震補強を施すとともに、バリアフリーの発想に基づいてエレベーターを新設するなど、1910年に建設され事務所として使用していた木造建築を活かしながらも、来館者の皆様に安心して館内をご覧いただける施設になっています。創業期に使用していた機械を展示し、企業の歴史と創業者である正田貞一郎をはじめ歴代経営者の情熱と軌跡について、ゆかりの品々とともに紹介しています。

「新館」は、最新の製粉技術を知っていただける施設です。小麦を砕くロール機や小麦粉をふるうシフターについて、新旧の機械を並べて展示しています。見比べることで今も受け継がれる技術と進歩した最新の技術を感じることができます。また、パノラマシアターでは、製粉工程を動画で紹介。各工程を表すミニチュア模型を動かすと、ダイナミックな音響とともに、臨場感あふれる製造工程の映像をお楽しみいただけます。

施設の外には日本庭園があり、ゆったりとした時間を過ごしていただける憩いの場を提供しています。この日本庭園も含め周辺の緑地環境を整備しています。



本館



新日の製粉機械(新館)



ロール機を取り囲むように企業の歴史を紹介(本館)



製粉工場パノラマシアター(新館)



創業者 正田貞一郎を紹介するギャラリー(本館)



緑あふれる日本庭園

環境改善大賞を受賞

日清製粉グループは、館林商工会議所「第1回キラリと輝く企業表彰」において地域の文化・観光振興のための環境の改善に多大な成果をあげている企業として環境改善大賞を受賞しました。(2013年3月25日)

「キラリと輝く企業表彰制度」とは、館林商工会議所が、地域経済の活性化や地域貢献等に対して、特に寄与している会員企業を表彰する制度です。この受賞には、「製粉ミュージアム」も貢献し、「製粉ミュージアム」が館林市の顔として館林駅西口駅前広場のシンボルとなり、近代産業発祥の地として文化振興・観光振興の資源として大きな効果をもたらすことや、子どもたちの夢を育む場としてまちづくりと連携できることを期待され、地域の環境改善に大きく寄与したことが評価されました。



緑地環境が整った製粉ミュージアム



環境改善大賞表彰状

健康で豊かな生活の再建のために 「できることを、 できるときに、 できるだけ」

日清製粉グループでは、東日本大震災直後、被災地へ義援金や支援物資をお届けしました。その後も、被災された皆様が、一日でも早く平穏な生活を取り戻されることを願い、被災地の訪問やコミュニティ活動支援、障がいをお持ちの方、福島を離れ首都圏で暮らしている方への支援を継続して行っています。



被災地との交流

被災地を訪問し、現地の方や支援活動を行うNPOと交流し、対話しながら、支援事業を企画しています。

●復興支援セミナーを開催

事業再建を目指す事業者をお招きして、社内セミナーを開催しました。



(株) 齊吉商店 専務取締役 齊藤和枝さん(宮城県気仙沼市)

●社員食堂で「みちのく応援メニュー」を開催

被災地産品を活用したメニューを社員食堂で提供しました。



「嬉しい!金のさんま」を使った惣菜(齊吉商店)

岩手県陸前高田市広田町の茎わかめを使ったスパゲッティ

コミュニティ活動支援

地域の復興に向けて子どもたちが自主的に行うコミュニティ活動や母親同士で交流を図る子育てサロンに、小麦粉を使った手作り教室などを提供しています。

●津波で被災した中学校に製菓を出張指導(岩手県宮古市)



地域のシンボルの岩をデザインしたクッキー

●子育てサロン(NPO法人地球の楽好)で手作り教室を開催(福島県福島市)



父の日クッキーづくり

障がいをお持ちの方への支援

被災地で生活する障がいをお持ちの方々を支える取り組みに協力しました。

●ええもん買って東北支援 「みんなDEカオウヤ プロジェクト」

グループの社員を対象に、震災により影響を受けた障がい者福祉施設の授産品のチャリティを開催しました。



●神戸スイーツ・コンソーシアム in 仙台(仙台市若林区)

震災復興支援の一環として仙台で初めて開催しました。(2012年度)



原発事故の影響により 首都圏で生活されている方への支援

原発事故の影響で、故郷の福島を離れ、東京都や埼玉県などで暮らしている方々が交流する支援団体が行うイベントに小麦粉粘土や樹脂粘土を利用したクレイアート教室や手打ちうどん教室などを提供しています。

●三鷹の森 ジブリ美術館への招待(東京都三鷹市)

埼玉県に避難されている方をお招きしました。



©Museo d'Arte Ghibli

●ふくたま結(Yui)プロジェクト(埼玉県さいたま市、他)に参加



小麦粉粘土で
バッグチャームづくり

●交流イベント「こっちゃん来たらいいべえ」へ参加 (NPO法人 医療ネットワーク支援センター・東京都内各所)



ひまわりプロチを作ろう!

●親子手打ちうどん教室(埼玉県鴻巣市)を支援



義援金

2012年12月、日清製粉グループ本社は原発事故による避難者の生活支援のため、福島県災害対策本部に義援金をお届けしました。

ステークホルダーの 皆様との対話

日清製粉グループは、さまざまな機会を通じてステークホルダーの方々とコミュニケーションを図りながら、各ステークホルダーから積極的に支持され続けるグループになるよう努めています。

消費者の皆様と

消費者志向経営の羅針盤 CR室

CR (Consumer Relations) 室は2009年に経営直轄の組織として設立されました。CR室は、消費者の意識や社会の潮流を的確に見極めるとともに、事業部門を横断する消費者情報の共有と対応の一元化の役割を担っています。また、消費者団体の皆様と対話のできる関係づくりにも力を入れています。

消費者団体との意見交換

日清製粉グループは、消費者団体の皆様と対話ができる関係づくりの第一歩として意見交換会を実施しています。2012年9月には主婦連合会の方々を日清製粉鶴見工場に招き、11月には全国消費者団体連絡会に加盟する5団体の方々をマ・マーマカロニ宇都宮工場に招き、工場見学・意見交換会を実施しました。製造工程の見学により、製品安全の取り組みへの理解を深めていただくとともに、消費者の方々が日ごろ疑問に思われていることに対して活発な意見交換を行いました。



製造工程の見学 (宇都宮工場)

「暮らしフェスタ東京2012」に出展

東京都が毎年10月の“消費者月間”に「暮らしフェスタ東京」として実施しているイベントのひとつ、「見て、聞いて、話そう！交流フェスタ」に、(株)日清製粉グループ本社CR室と環境管理室が合同出展しました。“小麦

がつなぐいのちとみらい”をテーマに、小麦、小麦粉についての説明や、環境配慮型商品“マ・マースーパーブロント”の紹介を行いました。2012年10月12日～13日の2日間で800～900名の方にお越しいただき盛況でした。



来場者に説明する環境管理室の担当者



来場者の質問に答えるCR室の担当者

次世代を担う子どもたちと

「子ども霞が関見学デー」に出展

日清製粉グループは、農林水産省が2012年8月に開催した「子ども霞が関見学デー」に出展しました。農林水産省内に設けられた展示コーナーでは、「小麦から小麦粉ができるまで 日清製粉グループの取り組み」をテーマに、小麦の構造や小麦粉の種類について、また、小麦の自給率と国産小麦の振興に関する取り組みについてのパネル展示をしました。また、映像によるバーチャル工場見学や、石臼での粉挽きなどの体験学習を実施しました。日頃は触れる機会が少ない主要穀物としての“小麦”と身近な食の“小麦粉”について、来場した子どもたちに理解を深めてもらえるよい機会となりました。



大勢の小学生が参加



石臼での粉挽き体験

エコプロダクツ 2012に出展

(株)日清製粉グループ本社とNBCメッシュテックは、2012年12月に東京ビッグサイトで開催された環境展示会「エコプロダクツ2012～もっとグリーンに、もっとスマートに～えらぼう未来を～」に出展しました。今回は、「小麦粉でちょっといい未来」をテーマに、環境に対する取り組みや環境に配慮した製品を紹介しました。



エコプロダクツ2012

出張授業

日清製粉グループでは、子どもたちの生活に身近な小麦粉や食品などを題材とした環境教育プログラムの提供を通じて、子どもたちの環境学習を応援しています。



中学校での環境学習の出張授業

親子で楽しむ小麦粉粘土教室

「製粉ミュージアム」では、小麦粉粘土を使用したストラップ付きミニチュアフードを手軽につくる小麦粉粘土教室を定期開催しています。



ストラップ付きミニチュアフード

2012年度に出展した主な展示会一覧

さまざまな展示会への出展を通じて、ステークホルダーの皆様にも多様なご提案をしています。

FOOMA JAPAN
国際食品工業展

日清エンジニアリング

NOODLE WORLD

日清製粉、日清フーズ

インターペット～人とペット
の豊かな暮らしフェア～

日清ペットフード

食品開発展

日清ファルマ
オリエンタル酵母工業

国際粉体工業展東京

日清エンジニアリング

スーパーマーケット・
トレードショー

日清フーズ

エコプロダクツ展

日清製粉グループ本社
NBCメッシュテック

国際ナノテクノロジー
総合展・技術会議

日清エンジニアリング

『モバックショウ』
(国際製パン製菓関連産業展)

日清製粉
オリエンタル酵母工業

株主の皆様と

個人株主様向け施設見学会

(株)日清製粉グループ本社では、個人株主様を対象とした施設見学会を、2012年9月に日清製粉鶴見工場、2013年3月に「製粉ミュージアム」で実施しました。いずれも、多くの株主様からご応募いただき、抽選の結果、合計197名の株主様と同伴者様にご参加いただきました。鶴見工場見学会では、原料小麦の受け入れから小麦粉の製造および出荷までの工程を実際にご覧いただき、また「製粉ミュージアム」見学会では、映像や展示物を通じて小麦の特性や小麦粉の製粉工程等をご覧いただくとともに当社の歴史にも触れていただきました。いずれの会でも多くのご質問や貴重なご意見をいただき、有意義なコミュニケーションの場となりました。



鶴見工場見学会



「製粉ミュージアム」見学会

ステークホルダーの皆様への責任を果たす

日清製粉グループを取り巻く各ステークホルダーに対し、信頼を得るため、さまざまな活動を行っています。

お客様とともに

消費者視点での品質保証

●品質保証責任者制度

工場には生産部門から独立し、消費者視点で品質を保証する品質保証責任者が駐在しており、工場での最終出荷判定を行っています。

●品質保証研修

消費者視点での品質保証活動を推進するため、海外を含む開発・製造・営業の全部門で研修を実施しています。

●セイフティレビュー

新規企画製品や新規原材料、景品は、各事業会社で専門知識を持つ技術者が集まり、「セイフティレビュー」という審査で、食品の安全性を総合的に評価します。評価項目は、法令遵守確認、食品としての危害分析、ユニバーサルデザイン、環境配慮など幅広く、新製品が全評価項目の基準を満たすまで審査が行われます。

●新規原材料・新製品についての最終検査

「セイフティレビュー」に合格した新規原材料・新製品は、(株)日清製粉グループ本社のQEセンターで残留農薬等の安全性の最終検査を行い、採用・販売の可否を決定しています。

●食品安全マネジメントシステム等を活用し、製品の品質・安全性を保証

AIB国際検査統合基準やISO22000およびISO9001を導入し、現場管理とマネジメントシステムによる継続的改善に取り組んでいます。

●NQ監査及び第三者診断

製商品の品質設計から製造、品質管理、出荷、保管管理にいたるまでのすべての段階で実施している製品安全対策が適切に実施されているかを「NQ監査(Nisshin Quality Assurance Audit)」により確認しています。また、品質保証活動が適正に行われていることを保証するために、日清製粉グループと利害関係のない第三者による診断を受けています。

●表示の適正性モニタリング

日清製粉グループでは各事業会社が責任を持って表示の適正性の確保に務めるとともに、(株)日清製粉グループ本社が表示の適正性のモニタリングを実施しています。

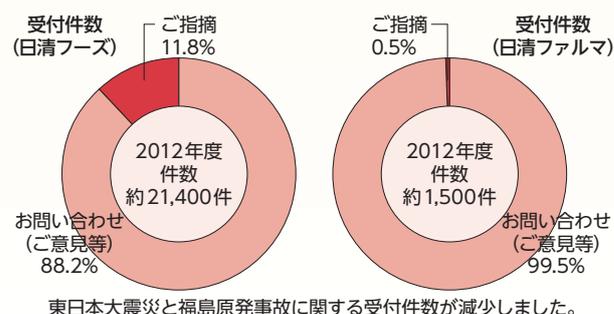
消費者の皆様の声を活かす

●お客様相談室

日清フーズと日清ファルマの家庭用製品についてのお問い合わせやご指摘への窓口として、「お客様相談室」を設置し、常に消費者の皆様にご満足いただけるよう努めるとともに、信頼向上に取り組んでいます。

また、直接お問い合わせのあった消費者の皆様だけではなく、より多くの消費者の皆様にお伝えできるよう、よくいただくお問い合わせをウェブサイト「お客様窓口」に掲載しています。商品カテゴリー、目的別にQ&Aを検索いただけます。

WEB:お客様窓口 <http://www.nisshin.com/customer/>



●品質改善会議

「お客様相談室」は、日清フーズと日清ファルマの新製品やリニューアル製品の発売前に、表示内容のわかりやすさや正確さを消費者の目線でチェックし、表示承認を行っています。また発売後の製品について、日清フーズの品質保証・生産・開発研究の各部門担当者を集めて「品質改善会議」を開催し、消費者の皆様からの声を検討し、改善につなげています。

●日清ペットフード お客様相談室

飼い主様からのペットフードのご相談は、ペットに関する知識が必要なため、専用のお客様相談室を日清ペットフード内に設けています。

社員とのかかわり

人間性を尊重した働きやすい職場づくり

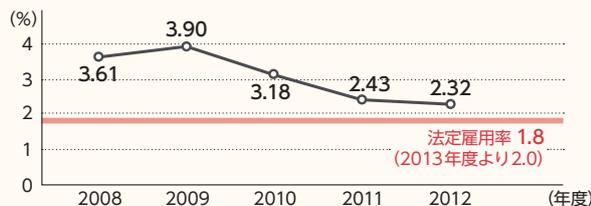
人種・国籍・性別・年齢・障がいの有無をはじめ、価値観・宗教・信条等の違いを認め合い、お互いを尊重し合う職場づくりを目指し、人権啓発研修をはじめとした活動を推進しています。

●障がい者の雇用促進

当社グループでは、障がい者の採用を積極的に行っており、(株)日清製粉グループ本社では法定雇用率1.8%を上回る2.3% (2012年度報告ベース)の障がい者雇用率となっています。また、当社グループの主要各社*合計でも法定雇用数を満たす、2.01%の障がい者雇用率となっています。

* (株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ペットフード(株)、日清ファルマ(株)、日清エンジニアリング(株)、日清アソシエイツ(株)の7社に、2010年度より、オリエンタル酵母工業グループ、NBCメッシュテックグループを加算。

障がい者雇用率 (株)日清製粉グループ本社単独



●次世代育成支援対策推進法への取り組み

グループ各社では、社員が仕事と育児を両立しやすい環境を整備すべく、「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」に取り組んでおり、子育て支援対策に取り組む企業として認定を受けています。



グループ各社の認定取得状況

取得年	取得会社名
2007	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)、オリエンタル酵母工業(株)
2008	大山ハム(株)
2009	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)
2011	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)、オリエンタル酵母工業(株)
2012	オリエンタル酵母工業(株)
2013	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)

これまでの主な取り組み内容

- 〔(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)〕
- ・育児関連諸制度をグループ報やグループイントラネットを通じて周知し、制度への理解と利用促進を図りました。
- ・育児休職の一部日数を有給化し、短期間の育児休職を取得しやすくしました。

- ・配偶者出産休暇を半日単位で取得可能にしました。出産に立ち会いやすくしました。
- ・社員一人ひとりが記念日を設定して年休を取得するキャンペーンを行いました。
- ・全社一斉ノー残業デーを実施しました。

●人権啓発の取り組み

当社グループはお互いの人間性を尊重した働きやすい職場づくりを目指して、人権に対する意識を高めるために、専門部署を設置しています。(株)日清製粉グループ本社人権啓発室では、すべての役員・社員を対象に毎年人権啓発研修を実施しています。2012年度は「ハラスメントと人権」をテーマに、職場の日常から人権を考える研修を実施しました。

また、毎年の人権週間の行事の一環として、人権啓発標語の募集を行っており、従業員およびその家族から毎年多くの作品が寄せられます。2012年度は約2400点の応募がありました。

人権啓発標語優秀作品

- ・笑顔 あいさつ 思いやり 今日から! ここから! 私から!
- ・小さな勇気がわたしを変える 変わるわたしが 周りを変える
- ・思いやる 心が育む 明るい職場

社員の安全と健康のために

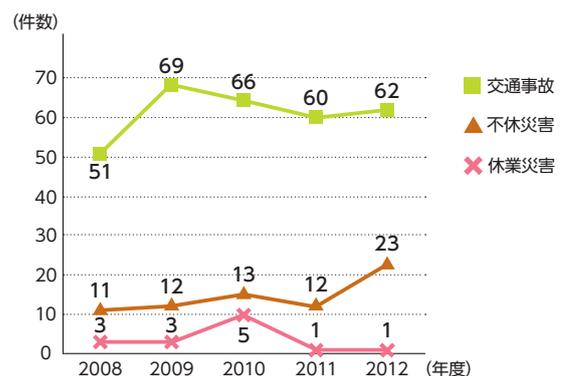
●労働災害の発生状況

休業災害は少ないレベルを維持していますが、不慮災害は増えてしまいました。

災害内容としては階段等での転倒が増えており、階段を降りるときの手摺使用の習慣化を呼びかけています。

交通事故は営業担当者の業務上の災害と通勤途上災害の自損および被害事故を含めた件数です。事故の発生状況を図解した災害情報を、グループイントラネットを通じて共有することにより、再発防止のための意識付けを行っています。

労働災害発生状況の推移



社会とのかかわり

日清製粉グループは、よき企業市民としての責任を自覚し、地域社会のみならず、広く社会に対して積極的に貢献活動を行い、豊かな社会の実現に寄与します。社員は地域行事の参加などをはじめとして、地域社会との交流を深め、友好・親睦を図るとともに、広く社会貢献に努めています。

食生活の向上と改善を目指して

公益財団法人食生活研究会への支援

(株)日清製粉グループ本社が支援している公益財団法人食生活研究会は、「健康で豊かな食生活の向上に貢献する」との理念のもとに、食料及び食生活に関する調査研究、研究者又は研究機関への支援等を通じて、社会公共の利益に寄与することを目的として、食料及び食生活に関する基礎的研究に対する研究費の助成や研究成果の刊行、講演会の開催等を行っています。2012年度は主として食品素材、栄養、安全性評価、高感度分析法、市場動向等食生活に関する研究を行う研究者、研究機関に対して、15件の研究費の助成を行いました。

また、毎年1回「食と健康」をテーマとした講演会を開催しています。2012年度の第20回講演会では、「調理と安全 - 食中毒を中心に -」を畑江敬子氏(昭和学院短期大学長)より、「聞いて得する眠りの話」を裏出良博氏(公益財団法人大阪バイオサイエンス研究所研究部長)よりご講演いただきました。毎年、その分野の著名な講師による時宜に適したお話をいただき、好評を得ています。



「食と健康」講演会

食をつくる楽しさ・大切さを伝える

手づくり教室

日清製粉グループでは、身近な食材「小麦粉」にもっと親しんでいただくために、さまざまな教室を開催しています。

●フラワー手づくり教室[®]

パンをはじめとした小麦粉料理の講習を月に数回開催しています。

●出張講習会

学校の授業やクラブ活動、公民館などの催しに向けて、専門の講師を派遣しています。

●特別教室

小学生と保護者を対象に、手づくりの楽しさを子どもたちに伝える教室を定期的で開催しています。

WEB:特別教室のレポート

<http://www.nisshin.com/entertainment/school/special/>

●ふれあいの会製パン講習会

オリエンタル酵母工業食品開発センター(大阪)では、地域の小学生と保護者を対象に、イーストの歴史を学びながら楽しくパンづくりを行う会を開催しています。

「アメリカンベーキングセミナー」に協力

日清製粉は、日清経営技術センターが企画し、サン・メイト・グローブズ・オブ・カリフォルニア社、バレー・フィッティング・グローブズ社、(株)タントが主催する「アメリカンベーキングセミナー」に協力しています。ベーカリーのお客様を対象に東京と大阪で開催しています。



アメリカンベーキングセミナー



アメリカ料理学院(CIA) ベーカリー講師

神戸スイーツ・コンソーシアムへの協賛

「神戸スイーツ・コンソーシアム(KSC)」は、社会福祉法人プロップ・ステーションが中心となり、「スイーツの世界で活躍するチャレンジド(障がいのある人)を生みだそう!」というミッションを掲げて2008年6月に発足したプロジェクトです。日清製粉は、このプロジェクトの主旨に賛同し、社会福祉法人、行政、メーカー、卸売業などさまざまな支援者とともにKSCに協賛しています。お菓子づくりには欠かせない小麦粉が、チャレンジドと社会をつなげる役割となることを目指しています。

全国高校生料理コンクールに協賛

全国高等学校家庭クラブ連盟 (FHJ) 主催・日清製粉グループ協賛で、「全国高校生料理コンクール」を、年1回開催しています。2012年度で第43回を迎え、第7回から毎年協賛しています。

WEB: 全国高校生料理コンクール

<http://www.nisshin.com/entertainment/highschool/>



高校生料理コンクール入選作品

国連WFP協会への支援

日清製粉グループは、主要穀物である小麦を扱う企業として、飢餓と貧困の撲滅を使命とするWFP 国連世界食糧計画の主旨に賛同し、2005年9月に認定NPO法人国連WFP協会評議会に加入しました。以後、社員から推進メンバーを募って「WFP チーム・ペガサス」を組織し、募金をはじめとする自主的な活動を行っています。

豊かな生活文化への貢献

日本フィルハーモニー交響楽団夏休みコンサート

(株)日清製粉グループ本社は、「日本フィルハーモニー交響楽団 夏休みコンサート」に1978年以来、毎年単独協賛を続けています。これまで130万人を超える方々にクラシック音楽の入門編として親しまれています。



日本フィルハーモニー交響楽団

三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー事業に協賛

(株)日清製粉グループ本社は、2008年3月から社会貢献活動の一環として、三鷹の森ジブリ美術館の行うライブラリー事業に協賛を続けています。

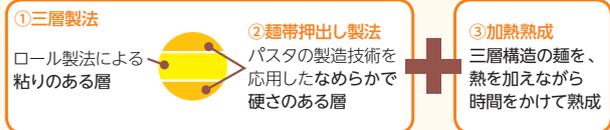
シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展

NBCメッシュテックは、メッシュを利用したスクリーン印刷の普及をはじめ、印刷技法・表現の向上、作家の育成、芸術・文化活動への貢献を目的に、2007年度から2年に1回「シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展」を開催しています。

確かな技術で社会に貢献

コシとなめらかさを極めた三層加熱熟成麺

日清フーズは、独自技術の「麺帯押し製法」「三層製法」「加熱熟成」を組み合わせた「三層加熱熟成麺」を開発し、「熟成極み」シリーズとして2013年2月に発売しました。独自の製法により、素麺や冷麦に、今までにないコシの強さとなめらかさを極めた驚きの食感を実現しました。



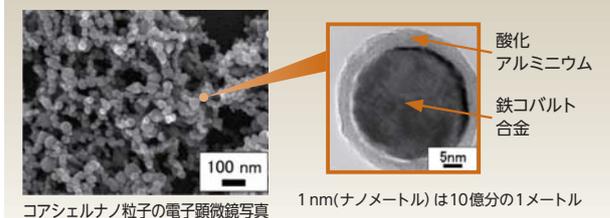
犬の健康を考えた“国産”療法食の開発

日清ペットフードは、ペットの“国産”療法食「JPスタイルダイエティクス」ブランドを立ち上げ、犬用食物アレルギー対応食「アレルゲンセレクトカット」2種類と、猫用ストルバイト尿石症対応食「ストルバイトブロック」を発売しました。ペットの小型化、高齢化、室内化といった日本特有の飼育環境に起因した疾病に着目し、研究や試験を重ねて、厳しい品質管理のもとに製造され、動物病院ルートで販売しています。



高周波熱プラズマによる金属磁性材料のコアシェルナノ粒子の製造

日清エンジニアリングは、強磁性金属を核として絶縁性材料を被覆したコアシェルナノ粒子の製造に成功しました。トランス、磁気ヘッド、電波吸収体、アンテナ、磁性流体等の幅広い分野での活用が期待されます。



コアシェルナノ粒子の電子顕微鏡写真

1 nm (ナノメートル) は10億分の1メートル

地球環境とのかかわり

企業活動によって生ずる環境への影響は地球環境全体にも影響すること、地球環境保全は企業の存続と活動の必須要件であることを認識し、「日清製粉グループ環境基本方針」にもとづき、自主的・積極的に廃棄物やCO₂の排出を削減するとともに、資源やエネルギーの有効活用を図るなどの環境保全活動を推進しています。

マテリアルバランス

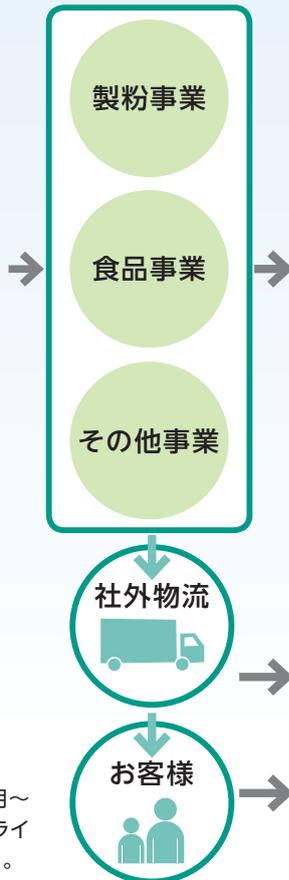
日清製粉グループの事業活動には、さまざまな工程や段階がありますが、主な環境影響として、製造における電力を中心としたエネルギーの使用や水の利用、CO₂や廃棄物などの排出が挙げられます。原料や資源の投入か

ら製造や物流、さらにお客様が製品を消費して廃棄するまでの環境影響を把握し、適正な管理に努めることにより、私たちの事業や製品からの環境負荷をなるべく少なくできるようにグループ全体で取り組んでいます。

INPUT



日清製粉グループ

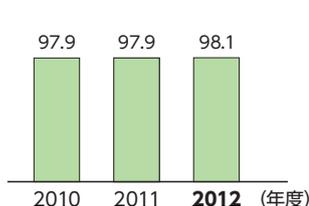


OUTPUT

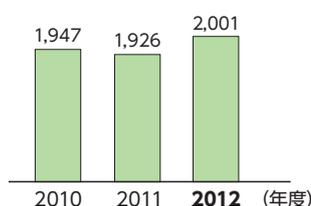


データの対象期間と算定について：2012年4月～2013年3月を対象期間とし、「環境報告ガイドライン2012年版」にもとづき、算定・開示しています。

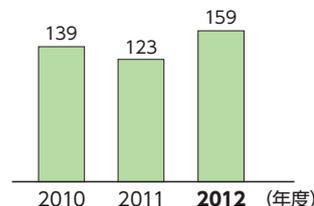
食品廃棄物の再生利用等実施率の推移 (%)



総排水量の推移 (千m³)



BOD負荷量の推移 (t)



環境マネジメント

環境担当取締役のもと、グループ環境基本方針に従って、環境に配慮した経営を推進しています。

独自の厳しい基準に基づいたグループ環境監査により、環境に関連した法令遵守や目標の達成状況などを確認しています。また、工場・研究所・営業部署などのオフィスも含めて、ISO14001統合認証を取得し、外部審査や内部審査などを通じて、EMS（環境マネジメントシステム）の運用状況を確認しながら、継続的な改善を続けています。

ISO14001統合認証対象範囲

(株)日清製粉グループ本社/日清製粉(株)/日清フーズ(株)/日清ペットフード(株)/日清ファルマ(株)/日清エンジニアリング(株)/(株)日清経営技術センター/日清アソシエイツ(株)/日清サイロ(株)/阪神サイロ(株)/マ・マ・マカロニ(株)/大山ハム(株)の国内の生産工場/サイロ/研究所/本社オフィスおよび地区オフィスの営業部などの各部署

グループ環境監査実績

年度	実施事業会社数	実施事業場数	監査結果	
			改善命令	改善勧告
2010	10	30	4	6
2011	13	30	1	3
2012	10	30	1	1

地球温暖化防止

工場では省エネ設備の導入、オフィスでは空調や照明、OA機器の省エネルギー化など、グループ全体で電力の利用を徹底的に見直してまいりましたが、2012年度のCO₂排出量は、主として原子力発電所停止に伴う電力排出係数の悪化により、大幅に増加となりました。

当社グループでは、2008年度より2012年度を最終目標年度として、CO₂排出量を1990年度比の8.6%削減することに取り組んでまいりましたが、2012年度の結果により、残念ながら5年間の累計でも僅かに目標達成はなりませんでした。

これからも、よりエネルギー効率の高い設備や再生可能エネルギーの導入、運転管理の見直しなどを推進し、地球温暖化対策を進めていきます。

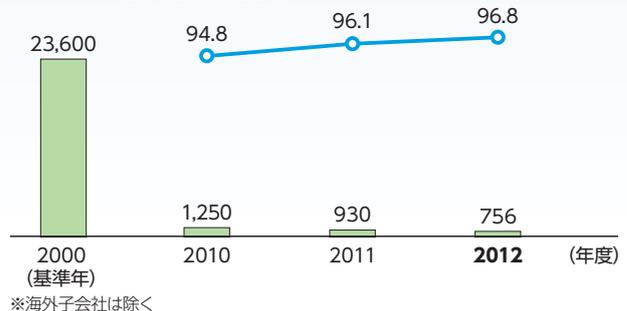
グループのCO₂排出量（輸配送は除く）（Ft-CO₂/年）



廃棄物削減

製造部門での生産効率の向上や手順の見直し、営業部門での需給や在庫管理の強化など、グループ全部門で排出物の発生の抑制に積極的に取り組みました。あわせて、肥料や飼料原料などとしての利用の促進に努めました。その結果、2012年度の廃棄物最終処分量は、2000年度の水準から約97%の削減となりました。

グループの廃棄物最終処分量



生物多様性への配慮

日清製粉グループの事業や製品にとって自然の恵みは欠くことのできないものです。生物多様性と事業活動や日常生活とのつながりについて、社員が理解するための情報提供や勉強会の開催をしています。また、認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストや公益財団法人日本自然保護協会(NACS-J)の「自然しらべ2012」への協賛などを通じて、将来にわたって、自然の恵みが人々の健康で豊かな生活づくりの支えになるよう、取り組んでいます。



専門家による事業場の生物相調査

日清製粉 福岡市に最新鋭工場を建設

日清製粉では、グローバル競争の中で多様化するお客様ニーズに対応するため、臨海工場への生産集約を順次進めています。九州地区においては、2014年2月完工を目指して、福岡市中央区の須崎埠頭に新たに製粉工場（福岡工場）の建設を進めています。福岡工場は、最新の技術・ノウハウを活用するとともに、内陸部の既存工場から臨海工場への生産集約による生産性向上を実現し、九州地区に安定的・効率的な小麦粉の供給を行います。また、製品の安全・安心レベルおよび建物の耐震性能を十分に確保し、さらに環境面にも万全の配慮をしています。



完成予想図

地域とともに歩む、福岡工場の特徴

●食品安全の取り組み

福岡工場は、主に業務用小麦粉を九州地区のパン、菓子、製麺工場などに出荷します。食品安全の取り組みとして、独自の空気輸送システム採用で、高品質かつ安全な小麦粉を効率良く生産・供給します。また、原料情報から製品情報に至るトレーサビリティシステムを構築します。

●省エネ化による地球環境保全への貢献

既存の鳥栖工場・筑後工場は内陸部にあるため、原料小麦の輸送にトレーラーやトラックを毎日数十台も使用しています。福岡工場は臨海部、しかも穀物サイロに隣接した場所にできるため、トラックではなくコンベアでの輸送が可能になり、輸送にかかるエネルギーを大幅に低減できます。

また、高効率モーターを使った製造設備、ガスヒートポンプ式の空調設備、LED照明などを導入することで、電力使用量も従来の約15%の削減を図ります。

●地域の緑化推進に貢献

福岡市緑地保全と緑化推進に関する条例に沿って、工場の敷地境界沿いを中心に植栽を含めた緑地を配置することに加え、駐車場を芝生にするなど緑地の充実に努めています。

●バリアフリー設計

福岡市福祉のまちづくり条例に沿い、製造本館入り口

にスロープを設置するほか、多目的トイレの設置や廊下幅を広くするなどの配慮を行っています。

●景観への配慮

福岡工場が建設される須崎埠頭は博多港の玄関口として、中国、韓国からのクルーズ客船が最初に目にする埠頭です。福岡市では、アジアからの観光客に対する「おもてなし」を基本コンセプトとし「博多らしさ」をアピールするため、須崎埠頭の工場群の外壁塗装については、博多の伝統工芸品である博多織の五色献上色を取り入れ、統一した配色で景観づくりを進めています。市の協力要請を受けて、福岡工場ではサイロ外壁の塗装に五色献上をベースとした赤色を採用し、博多織の帯をイメージした縦のラインを取り入れています。

知多工場にも、新鋭ラインを増設

中部地区においても、臨海部に位置する知多工場（愛知県知多市）に新ライン（1日あたり小麦挽砕能力320トン）を増設することを決めました。中部エリアでの生産を一段と知多工場に集約することで、高品質の小麦粉をより効率的に生産し、多様化するお客様のニーズにきめ細かくお応えするとともに、安全、安心への取り組みを一層推進していきます。

グローバルに展開する日清製粉グループ

日清製粉グループは、中期経営計画「NNI-120、スピードと成長・拡大」のもと、近い将来グループの海外売上高比率30%以上を目標に事業展開を進めています。

目標達成に向けた最近の取り組みを紹介します。

ニュージーランド最大の製粉事業を買収

2013年2月に、オーストラリアおよびニュージーランドの大手食品企業であるGoodman Fielder社よりニュージーランド最大の製粉事業を取得し、新たにチャンピオン製粉としてスタートしました。同社は、55%の国内トップシェアを誇り、小麦粉・ミックス・ベーカリー関連商材等幅広く事業を展開しています。今後は日清製粉グループの製パン技術等二次加工技術や新規需要創出のノウハウを応用し、チャンピオン製粉の事業をさらに拡大していきます。また、日本向け小麦の主産地であるオセアニアにおいて、小麦関連情報の収集や小麦生産者、穀物集荷業者との関係を強化し、グローバルな市場で製粉事業の展開を目指していきます。



クライストチャーチ工場



マンガヌイ工場

ミラー・ミリング社で小麦粉生産能力を約30%増強

ミラー・ミリング社は、米国の東部および西部の消費地に近い地域に2工場を擁し、豊富な経験と優れた技術を有する全米9位の製粉会社です。(株)日清製粉グループ本社と日清製粉は、ミラー・ミリング社を2012年3月に買収しました。2013年2月には、約30%の小麦粉生産能力の増強を行い、既存の事業基盤に加え、日清製粉グループの製粉事業の強みである開発力・技術力・安定した品質力等を生かし、さらなる出荷拡大を図っています。

また、カナダのロジャーズ・フーズ社とも連携し、グループでシナジーを発揮しながら、北米における製粉事業の拡大を加速していきます。



ウィンチェスター工場



フレズノ工場

コミュニケーションツールのご紹介

ウェブサイト「CSRの窓」

ウェブサイト「CSRの窓」では、本冊子では紹介しきれない詳細な取り組みを紹介しています。

<http://www.nisshin.com/csr/>

- | | | |
|----------------|---------|-----------------|
| ● 社長メッセージ | ● 社会活動 | ● 社会・環境レポート |
| ● CSRのあゆみ | ● 環境保全 | ダウンロード |
| ● ステークホルダーとの対話 | ● 理念・方針 | ● 公益財団法人 食生活研究会 |
| ● 特集 | | |
| ● 経営体制 | | |

その他のコミュニケーションツール

経済、環境、社会性に関する右記の情報を当社ウェブサイトで紹介しています。

- | | |
|----------------|------------|
| ● 株主報告(日本語/英語) | ● 児童向けCSR |
| ● 決算短信(日本語/英語) | スペシャルサイト |
| ● 安心・安全への取り組み | 「こなニメーション」 |
| スペシャルサイト | 「こなドベンチャー」 |
| 「あんしんの礎」 | 「こなRPG」 |



スペシャルサイト「あんしんの礎」
<http://www.nisshin.com/csr/anshin/>



日清製粉グループ
社会・環境レポート2013

発行 2013年9月

発行者 株式会社日清製粉グループ本社
東京都千代田区神田錦町一丁目25番地

問い合わせ先 株式会社日清製粉グループ本社
技術本部 環境管理室

TEL.03-5282-6570 FAX.03-5282-6155

ホームページ <http://www.nisshin.com/>



この冊子に使用している用紙の売り上げの一部は、生物多様性を保全する活動に寄付されます。



石油系溶剤を植物油系成分に置き換えた印刷インキを使用しています。



印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。



この冊子は色覚の個人差を問わずできるだけ多くの方に見やすいように配慮して作られていると、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により認証されています。

